

遺言

祖父は美男子だったとか、私の見たところ
 単なるおじいさん、と思っただけに
 その祖父は十二月のおもちつきの新
 暦日にどんくもち米をふかしてもちい
 たら人たすきおちふもちをついて、持て
 りてつて下さい、と言っていた
 なにをなくもちつて、うすきながめては
 父は少しの間、高居をしておいた
 袋の袋は、雨だからかうすいぶらにして

番中、いきつかえて、昨日田におつかい下
 さい、とかいふれをたてていた
 何かとていようお氣なしていた
 現在、信じている、おちふすち
 古くあると、おちふすちいかにまじ
 一番ひどかつたのは、白アリだ
 玄關からお台所まで、白アリの巣に居た
 白アリというのには、私の見たのは、黒い羽だ
 黒い羽は玄關、いつかいたなり、床、おちふ
 はく、何とない

その時ころ 工務局のせうに参るまで

ホセキくういたなる

断絶~~新~~跡を入れたり ニ室がラス窓にしたり

カーブも新しくしたり テビ^ビがデニタル

と我々の時、 テレビやデレウを買って

来たらん

~~現在~~現在も社長に参るもクウニとがめる

最近エアアアがめらるる、
新うー

入らぬととが出る

古いものを新しいものに入れ

室外署
新機~~器~~のふく部が ありとあり

この暑い中 ほんとにすすきいと思ひ

おれをしてろ 病気にうつらしい

これぐせやん 工務局に参らるる時

そうして 来たらん

ひふとして ほんの少し祖父の道伝

かもしんる

21
20/8/20